

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	【学習上の課題】 ・国語「漢字」「読むこと」 ・数学「用語の意味」 ・理科「光や音」 【指導上の課題】 各教科における見方・考え方を働かせ、生徒主体で知識・技能を習得できる授業を展開すること。	⇒ 授業の最初に前時の学習を振り返り、その内容を生かして本時の学習活動につなげる【毎時間】。 児童生徒による学び合い(協働学習)や、一人一人の能力・適性に合った学習活動(個別学習)を取り入れた授業を、ICTを効果的に活用しながら展開する。 生徒が「今日理解できたこと／疑問に思ったこと」を簡潔に記録する振り返りの時間を設定し、教師が回収・フィードバックして次の授業に活かす。【各単元1回以上】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 ・国語…場面と描写を関係付けて解釈する場面 ・理科…「地球」「エネルギー」の知識を活用する場面 【指導上の課題】 課題の解決に向けて、生徒が主体的に物事を判断したり表現したりする授業を展開させること。	⇒ 教科特有の見方・考え方を働かせながら、本時の課題を生徒主体で解決する授業を行う。【毎時間】 『課題発見→自力解決→生徒同士での学び合い→まとめ』のサイクルで主体的・対話的で深い学びにつながる授業を展開し、生徒が初めての問題にも対応できる資質・能力を育成する。【各単元1回以上】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)